

研究者名：石山 友美（景観デザイン専攻 准教授）
研究課題名：8ミリフィルム映像の地域景観資料としての活用に関する研究
研究種目：研究活動スタート支援
研究期間：令和3年度～令和4年度

【研究概要】

本研究は、昭和期に広く一般に普及した8ミリフィルムに焦点をあて、個人によって記録されたそれらの映像を、マスメディアが捉えることのできなかった昭和期の地域景観の歴史的映像として見直すとともに、地域コミュニティの現状と照らし合わせ、地域の共有財産としての存在意義を明らかにすることを試みる。これまで、地域景観の記録媒体として8ミリフィルム映像を取り扱った研究は国内では前例がない。そこで、本研究は、全国トップクラスで人口減少と少子高齢化が進む秋田県内に対象地域を絞り、①8ミリフィルムを収集し、そのフッテージについて、映画分析の手法を使い分析・分類した上で、②それらの提供者へのインタビュー映像や、現在の街並みや集落の姿を撮影した記録映像と組み合わせて作品化、さらにアーカイブ化し、公開することで、③「個人の記憶」と「公の記録」といったこれまでそれぞれ不可侵であった二つの中間領域において、8ミリフィルムの歴史資料的な価値を再構築し、今後のコミュニティづくりの参考となるような映像資料として貢献することを目的とする。